

〈 別紙 〉

〈海外派遣支援および若手技術者の国内研修支援制度について〉

1. 制度設立目的

本制度は、鋼道路橋研究委員会に所属する官庁、大学、民間企業、個人らが技術研鑽のために海外渡航する場合や国内での技術研修に参加する場合、資金的援助を行い参加しやすい環境を整備することで、技術者の国際化を図ると共に、会員各位の技術力の向上、また会員への幅広い技術情報の提供を目的とします。

2. 応募資格

- ・ 応募資格は、本会に登録されている委員が所属する官庁、大学、民間企業、個人の全てを対象とします。したがって、本会に委員として登録している本人だけではなく、登録委員が所属している会社の職員も対象とします。
- ・ 本制度の申請目的が、鋼道路橋研究委員会の活動と関係していること、かつプログラム終了後にレポート（A4 4枚程度）の作成と報告会での発表が可能な方。
- ・ 同一個人、企業等から一年間に複数回応募がある場合は、他の応募者がいない場合のみ、受け付けます。

3. 支援内容

- ・ 支援金は海外渡航の場合①5万/人、②10万円/人、③15万/人の3タイプ設定し、渡航プランから委員長が決定します。また、国内研修等参加の場合は、参加内容に応じ、参加費、旅費等の補助を基本とし、特殊な場合は委員長ならびに常任委員の確認を取ることとします。
- ・ なお、海外支援については同一組織から複数名の参加を行う場合は、20万/組織を上限とします。

4. 報告会

- ・ 本会から支援を受けて参加した方は、プログラム終了後報告会で発表して頂きます。報告会は、関連小委員会または総会の場を考えていますが、内容に応じ別途報告会を開催します。
- ・ 本会から支援を受けて参加した方は、プログラム終了後レポートの作成をお願いします。内容は、プログラム目的や成果などの概要が分かるものとして、A4 4枚程度でお願いします。

5. 申込先

次ページの申し込み用紙に必要事項を記入し、下記アドレスまでメールかFAXしてください。

鋼道路橋研究委員会 事務局 池田 準

M a i l : j i 9 9 7 @ d o c o n . j p

F A X : 0 1 1 - 8 0 1 - 1 5 4 1

平成 年 月 日

鋼道路橋研究委員会
海外派遣支援および若手技術者の国内研修支援制度申込書

1. 申込者 氏名・所属

氏 名 : _____ 印 _____

所 属 : _____ 部署 _____

TEL : _____

Mail : _____

(連絡先は複数の場合代表者のみ)

2. 参加プログラム種別 (希望支援種別に○を付けてください)

① 海外渡航支援 ② 国内研修支援

3. 参加希望プログラムと開催日または期間

プログラム名 : _____

(海外の場合は渡航先など)

期 間 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

(日間)

4. プログラム (渡航・研修内容)

.....
.....
.....

5. 支援希望額 (いずれかを○で囲ってください)

<海外渡航の場合>

・ 5万/人 ・ 10万/人 ・ 15万/人 ・ 20万/組織

<国内研修の場合> ※希望する支援内容を下記に具体的に記載

.....

※ 同一組織で複数名申し込む場合は、別途全ての対象者の氏名一覧を提出して下さい。

※ 様式は固定ではありませんので、上記内容が解れば自由に変更していただいて結構です。

上記内容につき、支援を認めます。鋼道路橋研究委員会 委員長 松本 高志 印
" 事務局長 池田 準 印